

稲吟OB会会報

No. 37



吟 在早稻田
早稻田大学稲吟OB会

稲吟OB会の春号をお届けします。今号では、昨秋行われた稲吟会の発表会や、3月の定例総会、8月17日に開催されたOB会と稲吟会の交流行事についてもお伝えいたします。また、春に加わった稲吟会の新人諸君からのメッセージもご紹介します。

■目次■

巻頭言 60周年を担う若者たちを迎えて	1
---------------------------	---

News Flash

平成24年度稲吟会学内吟詠発表大会開催される	2
石堂常世稲吟会会長送別会開催される	4
ちょっと遅めの新年会、3月に開かれる	5
稲吟OB会・稲吟会交流行事、今年も開催	5

定例総会報告

2013年度稲吟OB会定例総会開催される	6
----------------------------	---

頑張ってます！ 稲吟会だより

新勧に奮闘中！	9
これからも稲吟会にご支援を	10
運命的な入会	10
稲吟会の人間	11
サッカーから詩吟へ	11
伝統ある稲吟会の一員として	12
稲吟会で再び詩吟に	12
今年の稲吟会合宿は千葉・岩井海岸にて実施、大会は11/16	12

事務局から

会員近況情報：名簿更新にご協力を	13
会費納入にご協力ください	13
編集後記	14

■表紙解説

早稲田キャンパスは建て替えが進んでいて、作業中の箇所にはフェンスが設置されています。このフェンスには本学期間理工学部教授の藪野健先生によって早稲田の現在や過去の風景が描かれており、キャンパスを通行する学生諸君の目を楽しませています。

60周年を担う若者たちを迎えて



稲吟OB会会長 大竹茂行 (平3)

記録的な残暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？ この会報が皆様のお手元に届くころには残暑が一服していることを願うばかりです。

さて、ここ数年、会員の減少傾向に歯止めがかからなかった稲吟会ですが、今年は10人を越える新入会員を迎えることができました。現役諸君は今年の会員獲得目標を10人として新勧活動を行ったということですが、見事に目標をクリアする結果となりました。今年入会した1年生は、2年後に迎える稲吟会創立60周年記念大会の中心的な担い手にもなります。その意味でも今年の新勧活動は大成功だったのではないのでしょうか。

OB会としても現役の新勧活動に対する金銭的支援を3年間続けてきたわけですが、一定の成果を上げることができたのではないかと考えております。もちろん、皆様から日頃いただいております物心両面にわたる現役に対する支援も今年の新勧活動の成功に大きく寄与していると確信しております。今後とも現役に対する支援をお願いいたします。

8月17日には新宿にて稲吟会・OB会交流行事を行い、現役12人、OB15人の計27人が参加し大いに盛り上がりました。この会は平成21年卒会でOB会事務局・現役担当を務める中川正章君が中心となって準備をしてくれました。今後、彼のような若手OB諸君がどんどん参加してOB会を盛り上げていただくことを期待したいと思います。もちろん、若手だけでなく、全ての年代の皆様がいつでも気軽に参加しやすいOB会作りに努めてまいりますので、皆様におかれましても機会があればぜひ行事等にご参加くださるようお願い申し上げます。



稲吟OB会・稲吟会交流行事 (8月17日) より

◆◆ News Flash ◆◆

平成 24 年度稲吟会学内吟詠発表大会開催される

平成 24 年度の学内吟詠発表大会が、平成 24 年 11 月 10 日（土）に早稲田大学戸山キャンパス内の学生会館にて開催されました。5 部からなるプログラムは独吟・合吟に加え詩舞や扇舞、構成吟など多様な構成で、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。





石堂常世稲吟会会長送別会開催される

長年にわたり会長として稲吟会をお導きくださった石堂常世教育学部教授が、平成24年度をもって早稲田大学を退職されました。石堂先生のご指導に感謝を申し上げるべく、平成25年2月23日（土）に早稲田・いねやにて送別会を稲吟会・OB会共催のもと開催しました。

送別会には学生に7名、OB7名が集い、独吟・合吟や人生劇場・新宿節に加え、久しぶりに復活した「四歌」で石堂先生お送り申し上げました。石堂先生は平成25年4月より、郡山女子大学の副学長として教育の面から福島の復興に活躍されています。



ちょっと遅めの新年会、3月に開かれる

平成25年3月2日(土)の定例総会終了後、西早稲田の早稲田蔵にて遅めの新年会が開催されました。前田茂則さん(昭35)の乾杯で始まった会には稲吟会の諸君も加わって、賑やかな宴となりました。



稲吟OB会・稲吟会交流行事、今年も開催

平成25年8月17日(土)に新宿ライオンにて恒例の稲吟OB会・稲吟会交流行事が開催されました。平木輝夫さん(昭33)の乾杯で始まった会には学生12名・OB15名が集い、互いに親交を深めました。今回は本田勝久さん(昭42)ご夫妻も宮城から参加し、震災後の様子などご紹介いただきました。



◆◆ 定例総会報告 ◆◆

2013 年度稲吟OB会定例総会開催される

2013 年度の稲吟OB会定例総会が3月2日（土）に早稲田奉仕園キリスト教会館にて行われました。総会には12名のOBに加え、稲吟会執行部3名をオブザーバーとして迎え、稲吟会緊急支援の継続や、OB会の組織運営について活発な議論が行われました。詳細は以下の資料をご覧ください。



■2012 年度活動報告

2月12日	2012 年度定例総会
3月	稲吟会春合宿
4月1日	稲吟OB 会会報35号発行・年会費請求
8月1日	稲吟OB 会会報36号発行・年会費請求
8月25日	稲吟OB 会・稲吟会 交流行事
8月27日～9月1日	稲吟会夏合宿
11月10日	稲吟会第57回大会

早稲田奉仕園
潮来市
事務局
事務局
新宿ライオン
伊豆・弓ヶ浜
早稲田大学学生会館

■2012 年度決算報告

2012年度(2012/1/1-2012/12/31)通常会計 決算案

収入の部			支出の部			
費目	予算案	決算	費目	前年度決算	予算案	決算案
前年度繰越金	655,332	655,332	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	700,000	468,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0	0	稲吟会新勸緊急支援	249,500	250,000	200,000
			通信費	57,140	180,000	144,905
			会報製作費	26,775	95,000	57,380
			広報関係費	3,390	3,390	3,390
			行事関係費	117,350	110,000	101,800
			慶弔費	18,343	30,000	2,961
			役員会議費	0	90,000	106,490
			事務局経費	4,881	21,942	1,110
			記念大会特別会計繰入	350,000	60,000	60,000
			地方等支援	0	80,000	0
			振込手数料	4,074	5,000	3,307
			予備費	0	250,000	0
			次年度繰越金	655,332	0	261,989
合計	1,355,332	1,123,332	合計	1,666,785	1,355,332	1,123,332

※年会費78名

以上

■新役員人事

2012 年度定例総会後、2012 年 3 月 3 日の役員会議にて下記の通り変更された(会報 35 号参照)。

(退任) 片山 俊 (H19) 現役担当を退任
 (新任) 高橋 優 (H4) 事務局長代理に就任
 (新任) 中川正章 (H21) 現役担当に就任

2013 年度 役員人事案

顧問	野中民蔵 (S40)	松岡宣夫 (S41)	須田芳矩 (S42)
	藤田和夫 (S45)	小出秀文 (S48)	
会長	大竹茂行 (H3)		
副会長	松村哲郎 (S48)	行 俊昭 (S62) 関西支部長	菅原 均 (H4) 事務局
	田口勝徳 (H6) 事務局長		
会計監査	山田仁史(H1)		
事務局	高橋 優 (H4) 事務局長代理	板倉真介 (H10) 会計担当	中川和歌奈 (H21)
現役担当	中川正章 (H21)		

■2013 年度活動計画

2月23日	石堂常世先生送別会 (OB7名参加)	早稲田いねや
3月2日	2013 年度定例総会	早稲田奉仕園
3月	稲吟会春合宿	潮来市
4月	稲吟OB会会報37号発行・年会費請求	事務局
8月	稲吟会・OB会交流行事	
9月	稲吟会夏合宿	
10月	稲吟会第58回大会	
12月	稲吟OB会会報38号発行・ OB会員名簿発行	事務局

■2013 年度予算

2013年度(2013/1/1-2013/12/31)通常会計 予算案

収入の部			支出の部			
費目	前年度決算	予算案	費目	前年度予算	前年度決算	予算案
前年度繰越金	655,332	261,989	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費 ⁽¹⁾	468,000	500,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入	0	300,000	稲吟会新勧緊急支援	250,000	200,000	250,000
寄付金	0	0	通信費	180,000	144,905	150,000
			会報製作費	95,000	57,380	95,000
			広報関係費	3,390	3,390	3,390
			名簿制作費 ⁽²⁾	0	0	80,000
			行事関係費	110,000	101,800	100,000
			慶弔費	30,000	2,961	30,000
			役員会議費	90,000	106,490	15,000
			事務局経費	21,942	1,110	23,599
			記念大会特別会計繰入 ⁽³⁾	60,000	60,000	0
			地方等支援	80,000	0	80,000
			振込手数料	5,000	3,307	5,000
			予備費	250,000	0	50,000
			次年度繰越金	0	261,989	0
合計	1,123,332	1,061,989	合計	1,355,332	1,123,332	1,061,989

(1) 年会費は100名の納入を想定

(2) 12月に発行

(3) 2012年度時点で特別会計に270万円を確保. 本年は通常会計に繰り入れる



◆◆ 頑張ってます！ 稲吟会だより ◆◆

藍原幹事長のリーダーシップのもと、今年も稲吟会に多くの若者が稲吟会に入会しました。第58代幹事長・副幹事長だけでなく、前幹事長の木嶋さんや、新人の皆さんから文章を寄せてもらいました。

幹事長、新勧に奮闘中！

稲吟会第58代幹事長 藍原泰園（文3、写真中央）

ちは！ このたび58代幹事長に就任した藍原です。普段何かとお騒がせをして申し訳ありません。

月日は早いもので、私も3年生となつてしまい、稲吟会生活も後半に差し掛かっています。思えば私の大学生活は稲吟会が8割くらい占めていたと思います。人数が少なく、正直理不尽なことも多い稲吟会を辞めたいと思ったことは何度もありました。他のサークルを眺めるとみんなどこも楽しそうで、それが凄く羨ましかったのを覚えています。



でも思えば、同期の前原の存在や、木嶋先輩、紺谷先輩、加賀美先輩など、少ないながらも濃密な人間関係は私に多くの刺激を与えてくれました。特にナンパがうまい前原と一緒に行動することで、私の視野は大きく広がったと思います。それまでは人見知りで、自分の殻に閉じこもりがちだった私ですが、段々人付き合いのコツを覚えていき、いつしか自分から積極的にナンパをするようにまで成長しました。そこからは面白いもので、詩吟で得た発声も相まって自分に自身が持てるようになりました。

先輩が引退し、私が幹事長に就任した時点で、現役は5人しかいませんでした。正直、サークルとしては風前の灯です。そういう状況で迎えた今回の新勧は、当会にとって存亡を賭けた非常に重要なものであり、決死の覚悟で臨みました。斜陽の、しかも何だかよくわからない古典芸能サークルというハンデは、想像以上に足を引っ張り、何度も新勧を投げ出そうと思いました。しかし諦めずにナンパで得たスキルをフルに活用して勧誘していくと、1人2人と興味を示してくれて、気がつけば新歓コンパに20人近い新入生が参加してくれました。さすがにその全員とはいきませんが、現在は10人近い新入生の入会を見込め、稲吟会再興への第一歩を踏み出せたと思います。

しかし、大変なのはこれからです。現状として、まともに機能している上級生は5人程度です。しかもそれが全員男子という状況で、女子の新入会員をどう引き止めるのか…… その他にも練習日程や場所、ごつつあんに伴うお金など問題は山積していますが、日々試行錯誤して頑張っています。本年度は最近は実施していなかった老人ホーム訪問や、新歓合宿などを復活させ、ますます活発に活動していく方針です。OB・OG諸先輩には多大なご迷惑をおかけいたしますが、今後ともよろしくお願い致します。

これからも稲吟会にご支援を

前（第57代）幹事長 木嶋孝幸（商4）



今年の4月で大学に入り稲吟会に入会してから早いもので3年、今はこれからの人生を生き抜くための試練に身を投じている所です。簡単に言えば、まだ内定を頂けていないまま就活を続けている今日この頃です。

去年の12月まで第57代執行部幹事長兼指導幹事を務めさせていただきました。今振り返ると、組織の長として物事を変えたり新しいことに挑んだりする、とても貴重な経験をさせていただけたと思っております。そのような経験ができたのも、OB・OGの皆様方のご支援・ご指導があったからこそであります。文面上ではありますが、心より御礼申し上げます。

さて、稲吟会の唯一の4年生として見守る立場になってしばらく経ちましたが、藍原幹事長をはじめとする後輩たちの努力は目を見張るものがあり、うれしく思っています。新入生を10人程迎えることができるらしく、今年度の活動に加え60周年記念大会が今から楽しみです。新入生の中には詩吟や剣詩舞の経験者も含まれており、4年生であり指導幹事の経験がある私の出る幕がいよいよなくなりそうでビビっています。

私は稲吟会で過ごし、縁の大切さや伝統を受け継いでゆくことによる成長を実感できました。大川先生やOB・OGの方々に様々なことを教わり、詩吟や剣詩舞そのものだけでなく稲吟会の様々な伝統を通して、人として成長できたと思っています。後輩たちには時代に合わせて変化しながらも、これから先も稲吟会が大切にしてきた“縁”や“よき伝統”を脈々と継ぎ、人として成長して欲しい思います。私は見守る立場の者として、後輩たちの成長や気づき、努力や苦労を傍から支えてゆきたいと思っています。

今後とも我々現役世代にご指導ご鞭撻いただけると幸いです。

運命的な入会

稲吟会第58代副幹事長 前原遼亮（基理3）

この度、第58代執行部副幹事長を務めることとなりました、前原遼亮です。

広島父と福岡母の長男坊としてこの世に生を授かりましたが、幼少期から青年期まで（現在まで？）ずっとお調子者の悪ガキで、身体中に傷を残しております。そんな私ではありますが、父母の支えのもと、広島県広島市立基町高等学校を卒業し、私の我儘な意思で広島大学医学部医学科を目指し1年間浪人いたしました。未熟者の私は結局合格に至りませんでしたが、九州大学建築学科と早稲田大学基幹理工学部合格することができました。酷く愚か者であった私は深く将来を考えることもなく、ただ大都市東京に憧れ、この早稲田大学に入ったのであります。そして、私の選択なのか運命なのか分かりませんが、稲吟会入会に至ったのであります。



現在、良くも悪くも稲吟会から多くの影響をうけ、そして多くの方々の支えもあって、そこそこ楽しい大学生活を送っております。本当に感謝しております。これからは残りの大学生活を、稲吟会の副幹

事長として、そして、学生としても、将来社会貢献できるように一步步精進していきたい所存でございます。

稲吟会の人間

稲吟会第58代会計幹事 馬場郁実（政経2）

「ヨッとも」という、最近学生に使われることばがあります。大学の構内ですれ違った際に、「ヨッ！」と声をかけ合う友人のことをさします。多くの学生は、この「ヨッとも」をいかにして増やすかということに、多くの情熱を注いでいるような気がします。「どうだ私にはこんなに、知り合いがいるんだ」とでも言いたいかのように。初めてこの言葉を耳にしたとき、稲吟会で知り合った方々には、そんな人はいないなと思いました。もし道すがら出会ったなら「ヨッ！」だけで会話が終わるわけない、と確信をもって言えるからです。昨年の1年間で、僕は稲吟会の活動を通じて、本当に多くの方と知り合いました。OBの諸先輩がたをはじめとする稲吟会に直接関わりのある方々、大川吾風先生をはじめとする水府流の皆さまがた、友好サークルの先輩・同期、他大学の詩吟部・研究会などの方々などなど。数えだしたらキリがありません。思うに、このどの方々とも、であって「ヨッ！」だけでは終わらない、そんなお付き合いをさせていただいていることが、僕が思う稲吟会に入って一番良かったことです。このような広く深い人間関係を築けるサークルに入り、執行部会計幹事という重役を任されたことを誇りに思い、今後も活動が続けていきたいと思っています。OBの皆様方におきましては、何卒ご支援のほどよろしくお願いいたします。

サッカーから詩吟へ

本多洋輔（商1）

私、誠に僭越ながら自己紹介させていただきます。栃木県は栃木県立栃木高等学校出身、早稲田大学商学部一年、姓は本多、名を洋輔と申します、以後お見知りおきを。

さて、私は栃木から来た田舎者でございますが、初めは詩吟をやろなどとはまったく考えてもいませんでした。私自身、小・中・高とサッカーをしてきて、大学でも続けるだろうと思っていました。しかし、大学生になり、親元を離れ、自分を知る人が1人もいないという環境のなかで、これは新しいことを始めるチャンスではないかと考えるようになりました。そこで、様々なサークルのブースをめぐる歩くことにしました。狂言サークルのブースを離れた矢先のことでした。

「君、日本の古典芸能とかって興味ない？」後ろから突然、2人組の男子学生が回り込んできました。「自分がさっき狂言サークルのブースにいたのを見ていたのに、なんて白々しい」と思いましたが、その疑いは、「お昼ご馳走するよ」の一言にかき消されてしまいました。その後、部室で3人になったわけですが、そこでのことをここに書くことはできません。ただ、確かなことは、そのあとで私が稲吟会に入会したということです。

詩吟のことにあまり触れずに最後になりますが、先生、OB、OG、諸先輩方、皆様にはこれからご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、この未熟な私をどうかよろしくお願い致します。



伝統ある稲吟会の一員として

高澤春香（文構1）

この春入会させていただき、伝統ある稲吟会の一員となれることを大変光栄に思っております。私自身、詩吟の経験は無く、全くの初心者ですが、私の小中高とゆかりのある昌平齋で詩吟が盛んだったと知り、興味を持ちました。高校での演劇部の発声の経験を活かし、これから先輩方のご指導のもと、日本の伝統文化を継承できるよう、日々稽古に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

稲吟会で再び詩吟に

野中政利（明治大学農学部1）



私は本年度より都内の大学に進学しました。上京するにあたり、幼少の頃経験した吟剣詩舞にもう一度携わりたいと思っていました。そんな折、この伝統ある稲吟会の存在を知り入会を決意しました。

私は経験者の立場からも「吟剣詩舞の認知度を上げること！」が当会における活動の最大の目標です。特に我々大学生のような若い世代に対してです。

私はこの芸能は我々大学生にとって学ぶべきことが多い芸能だと思います。漢詩を通して歴史を学び、様々な作者の人生観、美的感覚を学び、それを自身の声や身体で表現する。それにより自身の感性を養うことができます。またグローバリズムが進行し空前の日本文化ブームのなかで、世界に発信していく価値をもった芸能でもあると思います。

ですが現在の社会に対する吟剣詩舞の認知度は決して高いとは言えません。稲吟会には経験者・未経験者、そもそも吟に興味のある人・ない人様々な人が集まっています。でも皆で楽しく吟じたり舞ったりしながらこの芸能のイメージアップにつなげていきたいです。

また稲吟会には多方面で活躍なさっている多くの先輩方がいます。ぜひそういった諸先輩方からいろいろなお話を伺い自身の将来の糧にし、より充実した大学生活を送れるよう努めていきたいと思っております。

今年の稲吟会合宿は千葉・岩井海岸にて実施、大会は11/16

今年の稲吟会の夏合宿は、9月1日(日)～4日(水)にかけて千葉県・岩井海岸の庄兵衛(〒299-2216 千葉市南房総市久枝583 tel. 0470-57-2573 <http://www.awa.or.jp/home/showbay/>)で行われます。また、今年度の大会は11月16日(土)に、学生会館地下のB201にて開催の予定です。



◆◆ 事務局から ◆◆

会員近況情報：名簿更新にご協力を

OB会員名簿正誤 お手元の名簿（2010 年度版）について、以下を修正ください。今年は名簿の更新が行われます。秋以降、確認のご案内を差し上げますのでご協力ください。新しい名簿は、年末ごろに発行予定です。

名簿の内容について変更などありましたら、meibo@togin.org までお知らせください。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費（5,000円）の納入をお願いしております。卒業後3年間は4,000円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟 OB 会事務局会計幹事に電子メール（kaikei@togin.org）もしくは往復はがきにてお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740
《他の金融機関からの振込の場合…》
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）、店番 019、
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）店、預金種別 当座、
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギンOB カイ
年会費 5,000円

恐れ入りますが振替／振込手数料はご負担ください。



～ 編集後記 ～

いよいよ、第60代を担う新人諸君が稲吟会に加わりました。一方で、今春OB会に新入会された方は「平成25年卒」、平成OBが誕生して四半世紀になるのですね。この平成OBがどう稲吟会やOB会と向き合うかで、稲吟会の将来は大きく変わってくると思います。（たかはし）

■裏表紙解説

早稲田キャンパス・西門より見た6号館。左手に見えるのは14号館、右手は11号館です。春になると美しい桜がアーチのように飾っていた階段も、今やすっかり改修が進んで左右のビル群とともに都会的な装いへと変わりました。そんな中、6号館はかつてのたたずまいを未だに残しています。Google ストリートビュー（<http://www.google.co.jp/help/maps/streetview/>）で、キャンパス内を見ることができます（[ギャラリー] ≫ [大学] ≫ [早稲田大学 早稲田キャンパス]）。

発行：2013（平成25）年9月1日
発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局

編集発行責任者：高橋 優（稲吟OB会事務局）
早稲田大学稲吟OB会会報 通巻第37号